

平成二十七年 度

推薦入試試験問題

(文学科 日本語日本文学専攻)

注意事項

- 1 解答は、すべて解答用紙に縦書きで記入してください。
- 2 白紙は、下書きとして使用してください。
- 3 受験票とこの問題用紙および白紙は持ち帰ってください。

課題

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【省略】

【省略】

(井出祥子『わきまへの語用論』二〇〇六年、大修館書店、4～6ページより)

注1 インフラストラクチャーの略。社会的基盤と社会的生産基盤とを形成するものの総称。

注2 女性の権利を男性と同等にし、女性の能力や役割の発展を目指す主張および運動。

注3 アメリカの言語学者。

注4 考え方や思想傾向。特に政治・社会思想。

注5 政策・施策などの指針。指標。

問一 日本語から敬語をなくせば日本経済の混迷を解決することにつながるという主張は、言葉を変えることで社会を変えることができるという考え方に基づいている。このような考え方の成功例として本文で述べられていることを、二〇〇字以内で説明しなさい。

問二 グローバル化が進む現代において、日本社会の閉鎖性、非民主制を改めるため、日本語から上下関係を重んじる敬語をなくすべきだという敬語廃止論がある。あなたは、この敬語廃止論についてどのように考えるか。賛成または反対のどちらか一方の立場にたって、六〇〇字以内で論じなさい。